

《専門教育科目 専門応用科目》

|                           |  |       |        |          |       |
|---------------------------|--|-------|--------|----------|-------|
| 科目名                       | インテグレイティド・コミュニケーション・スキルズ                           |       |        |          |       |
| 担当者氏名                     | ビル ロッケンバッハ   |       |        |          |       |
| 授業方法                      | 講義   | 単位・必選 | 2・選択必修 | 開講年次・開講期 | 3年・秋期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ○ 専門応用-1 国際社会に貢献できる人材育成<br>◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 |       |        |          |       |

《授業の概要》

言語の4技能を統合的(科目名の「インテグレイティド」)な形式で授業参加者の英語力を高める。

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

---

《授業の到達目標》

授業参加者が様々なコミュニケーション場面で自信をもって英語で対応できるスキルを習得する。

《授業時間外学習》

予習として、その授業のトピックとなる背景を調べておく。復習として、授業で使われる文章の単語の意味と各文の構成を確認する。

《成績評価の方法》

- ・ 授業への参加姿勢(受講態度) …20%
- ・ 平常点(授業内プレゼン、提出物) …40%
- ・ 期末テスト …40%

《備考(教員経験の有無)》

「授業計画」は「コミュニケーション学—その展望と視点 (ISBN:978-4775400319)」(松柏社)で取り上げられたテーマを軸にした授業の展開例である。

《授業計画》

| 週  | テーマ         | 学習内容                            |
|----|-------------|---------------------------------|
| 1  | 英語コミュニケーション | コミュニケーションとは何か                   |
| 2  | 英語コミュニケーション | コミュニケーションとニーズ                   |
| 3  | 英語コミュニケーション | コミュニケーションの4つの視点                 |
| 4  | 英語コミュニケーション | 文化に対する視点の多様化                    |
| 5  | 英語コミュニケーション | 言語コミュニケーション(コミュニケーションにおける言語)    |
| 6  | 英語コミュニケーション | 言語コミュニケーションの研究(言語学の立場から)        |
| 7  | 英語コミュニケーション | 言語コミュニケーションの研究(コミュニケーション学の立場から) |
| 8  | 英語コミュニケーション | 言語と文化の相互作用                      |
| 9  | 英語コミュニケーション | コミュニケーションの場と背景                  |
| 10 | 英語コミュニケーション | 非言語コミュニケーションの機能                 |
| 11 | 英語コミュニケーション | 非言語音声メッセージ                      |
| 12 | 英語コミュニケーション | 非言語非音声メッセージ(外見的特徴、その他)          |
| 13 | 英語コミュニケーション | 非言語非音声メッセージ(空間、時間)              |
| 14 | 英語コミュニケーション | コミュニケーションの実践                    |
| 15 | まとめ         | まとめ(総括)                         |